

春闘勝利に向けた行動が、各地で展開される!

要求前進に向けた闘いを全職場から強化しよう!



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

No. 803 定価 20円

2018年 3月30日

仲間の信頼 力に変えて さあ踏み出そう 組織の拡大へ

QRコードからでも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

国労の18春闘は、2月13日の一斉申し入れ以降、JR各社との交渉が開始され、3月16日にはJR東日本・貨物会社で回答が示されました。

内容については、JR東日本は【基本給×0.25%】【初任給5千円増】【GS社員500円増】、JR貨物においては19年ぶりの有額回答となるも【300円】と低額回答でした。また、各グループ会社ではこれから春闘本番を迎えます。引き続き、職場からの創意工夫した取り組みを進めましょう。

今号では、①各地方の春闘期の取り組み、②各地方書記長会議、③東日本本部自動車協議会第30回定期委員会について報告をします。



3/16 新橋支部 春闘統一行動 集約集会

新橋支部は「支部春闘統一行動」として、①職場運動の強化、②学習総決起集会での情勢学習、③街宣・デモ行進等の大衆行動の3点を柱に、2月～3月に集中的に取り組んでいます。

今年1月31日に「地区分会三役・班代表者会議」を開催。「職場から春闘構築をめざそう」、「国民的な課題の前進をめざそう」の2点の目標を設定し、意思統一を図ってきました。

この目標を踏まえ、2月13・14日に「支部春闘学習総決起集会」を開催。3月6日には「街頭宣伝行動」を有楽町で取り組み、春闘要求の訴えや9条改憲反対署名を、自動車支部と支部退職者組合との共同行動として展開しました。

これら一連の統一行動の集約の場として3月16日に新橋において「支部春闘統一行動集約集会」を150名の参加で開催しました。

東京地本・石井書記長、南部全労協・藤村事務局長の来賓挨拶や共闘団体の闘争報告。一昨年新採加入した品川地区分会新橋保線区班の坂本さんの決意表明を受けました。そして支部から春闘統一行動の報告と組織拡大を集中点とした今後の取り組み提起を行い、市川委員長長の団結ガンパローで集会を終了。デモ行進で行動を締め括りました。

支部春闘統一行動は1年間の支部運動の最大の集中点として定着し、分会・班活動のバロメーターでもあります。30年間多くの先輩方が作ってきた運動を、今後も継承して行きたいと考えています。(新橋支部発)

3/9 国労東北 総決起集会

3月9日、仙台市内において国労東北総決起集会が開催され、423人の国労東北の仲間が結集しました。

集会の第一部では国労会館主催の東北労働講座が行われました。第二部の国労東北総決起集会では主催者を代表して東日本本部・大沼委員長と東北協議会・佐藤議長がそれぞれ挨拶を行いました。

来賓として、政党や友誼団体からあいさつを受け、東北三地本の各代表と東北貨物協議会議長からは、「春闘の闘いを通じて組織拡大を」「ストライキで要求を勝ち取るう」など力強い決意表明を受けました。

集会後に参加者は4隊列に分かれ、仙台市内でデモ行進を行いました。賃上げをはじめとした労働条件の改善や安全問題といった国労要求をシュプレヒコールで市民に広くアピールし、氣勢を上げました。(仙台地本発)

い、春闘情勢とJR会社の動向や国労の取り組み、18春闘勝利と諸課題の前進を図る取り組みを通じて、組織混乱から東労組を脱退した仲間を国労に迎え入れる決意を固め合おうと訴えました。



3/17 原発のない 福島を! 県民大集会

原発事故から丸7年が過ぎても、福島県ではいまだに5万人以上の人々が、苦しい避難生活を送っている中、3月17日に福島県楢葉町において「原発のない福島を! 県民大集会」が3300人(主催者発表)の参加で開催されました。

避難解除地区で集会を開催することに、様々な意見がある中で、きちんと協力しながら開催することの意

義深さを感じました。浪江町津島地区の住民から、何の落ち度もない住民が「ふるさとを奪われて離れていること」のつらさや、安倍首相が何事もなかったように原発再稼働を進めることに對する怒りが語られ、参加した我々の内にも心からの怒りが湧いてきました。

また高校生平和大使からは「戦後72年間、核のボタンを押すことができないこと」は、世界の人々が固く連携して平和を求めてきたことであり、去年の核兵器禁止条約につながった。私たちは微力であっても無



東日本各地方 書記長会議

3月11日開催!



国労東日本本部は3月11日に新橋において、各地方書記長会議を開催し、18春闘をはじめとした当面する課題に向けて意思統一を図りました。会議は矢部副委員長の司会で始まり、大沼委員長が「国会の場で働き方改革について議論がされてきたが、裁量労働制の見直しで政府側の資料データの問題により紛糾している。さらに、森友学園の財務省による公文書改ざん問題もあり、予

断を許さない状況になっている。18春闘は、各社で交渉を進めている。要求実現に向けて奮闘していきたい。JR内部では、東労組の組織問題で労務施策が大きく動いている。国労としての最重要課題である組織強化・拡大に向けて全体で情報を共有化し、協力し合って一人でも多くの組合員の加入に向けて努力していきたい」とあいさつしました。

伊藤書記長からは、①「18春闘について」JR東日本やJR各社の情勢と交渉状況、グループ会社への要求提出について、各地方における春闘行動および闘争態勢の強化について、②「組織強化・拡大の取り組みについて」東労組を巡る現在の状況と今後の取り組み、関連労働者の組織化について、③「労働条件改善・労働協約改訂、安全・安定輸送の確立に向けた闘いについて」会社施策の検証をふまえた改善要求などの扱いや、グループ会社対策などについて、それぞれ報告を行い、提起しました。

各地方からは「貨物会社のベアゼロに抗して、ストライキ体制の準備を要請する」「JRバス東北・東北ロジスティクス・貨物東北支社に要求を提出し、今後交渉を予定している」「東北総決起集会で423名、仙台総行動で170名の仲間が結集した」「保線の合理化について、具体的な将来像を解明要求で明らかにしてほしい」「エルダー本体雇用が希望通り進んでいるところもあるが、希望通り進んでいない組合員については今後取り組んでいく」「乗務員詰所などで防犯カメラの設置が進められている。支社に申し入れて交渉を行う」など地方における特徴点が報告されました。

最後に、伊藤書記長が「18春闘をはじめとする諸課題の実現に向けて、各地方本部と連携を深めて取り組みを進めていく」と集約。各地方の健闘を求め、終了しました。

自動車協議会

第30回定期委員会

2月14日・2月15日開催!



国労東日本本部自動車協議会は2月14日～15日、宮城県松島において第30回定期委員会を開催しました。

唐澤事務長の司会・議長で進められ、東日本自動車協議会・北山議長から「国鉄分割民営化より30年、国鉄バス↓JR東日本のバス部門↓グループ会社としてのジェイアールバスへと変遷し、職場も大きく変わった。現在の職場は慢性的な要員不足、十分な休息が取

れずに事故の拡大等の問題が噴出。喫緊の課題である組織強化・拡大とリンクして運動を進めなければならぬ。仲間に寄り添って考え、討論していこう。忌憚のない意見を」と提起しました。

東日本本部から大沼委員長から「18春闘方針は、拡大中央委員会・東日本拡大委員会で確立してきた。一人一人が関わり現場で改善に向け働きかけよう。官制春闘が作られて5年目、『3%の賃上げ』に未組織労働者の皆さんが期待しているが、昨年の賃上げも物価上昇に追いつかなかった。国労は2月13日、各社一斉に18年度賃金引き上げ要求等について申し入れた」と述べ、安全・安定輸送や組織の強化・拡大、政治の課題についても報告しました。

各委員からは「職場では要員不足が慢性化、月3～4日の休日出勤が当たり前。特に若いバス社員はそれが生活給となっている為、断れない。体の調子が悪くても出勤し

**最新のがん保険、
新登場。**

アフラック Since 1974

通院・入院・抗がん剤・診断一時金

NEW/
**生きるための
がん保険** Days

女性特有のがんにも
手厚い

NEW/
**生きるための
がん保険** Days

はじめてダック

● 商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
(引受保険会社)

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036

■ 募集代理店 (アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日

てしまう」「JR東日本からの出向社員が退職年齢に達し、エルダー社員へと移行している」などの報告があり、特に4月からのエルダー制度の見直しについて質問が多く出されました。

会館労働講座では、避難生活を続けておりバスOBでもある浪江地区労元議長の大倉満さんから「東京電力福島第一原発事故と避難者の状況」の報告を頂きました。「東に帰れない。国の政策がまだまだ不十分」と報告され、「原発はいらない」とつくづく考えさせられました。

その後の交流会では、記念すべき30回目に、歴代の議長より一言ずつ挨拶を頂き、職場で起きていることや不平不満を出し合い、大いに盛り上りました。

二日目は、各委員・分会代表者から現状や課題を出してもらい、最後に北山議長が「様々な問題が出されたが、一番はやはり組織強化・拡大。如何に国労組織を残すにかかっている。全ての組合員一人一人が死にもぐるいになって奮闘していこう。次期委員会では、新しい仲間の名が載るよう職場で精一杯取り組んでいこう」と集約し、新たに選出された丸山議長に力強い団結ガンバローで閉会しました。

(自動車協議会発表)